

WEEKLY SIGNAL

平成27年10月16日(金) 1295号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	10/19(月)	10/20(火)	10/21(水)	10/22(木)	10/23(金)
無担保O/N			0.030%	0.125%	
銀行券	+ 100	ト ン	△ 1,000	△ 2,000	△ 2,000
財政他	+ 4,400	△ 18,000	ト ン	△ 14,000	+ 2,000
資金需給	余 4,500	不 18,000	不 1,000	不 16,000	ト ン
主な要因	国庫短期証券発行・償還(3M)	国庫短期証券発行・償還(1Y)		交付税特会借入・償還 国債発行(20年)	
オペ期日	共通担保(全店) △ 1,000 CP買入 △ 100				被災地支援 △ 100
オペスタート	共通担保(全店) + 2,000 国債買入 + 12,000	社債等買入 + 1,300			
(日本)	全国支店長会議(日銀本店) 黒田日銀総裁挨拶 地域経済報告(さくらレポート)	公社債投資家別売買高(9月) 鉄鋼生産(9月) 百貨店売上高 (全国・東京地区9月)	貿易収支(9月) 訪日外国人客数(9月)	日銀営業毎旬報告 (10月20日現在) 日銀が保有する国債の 銘柄別残高 日銀による国庫短期証券の 銘柄別買入額	
(海外)	米 NAHB住宅市場指数 米 リッチモンド連銀総裁講演	米 住宅着工・建設許可件数 (9月) 米 NY連銀総裁講演 米 ハウエルFRB理事講演	米 MBA住宅ローン申請件数	米 新規失業保険申請件数 米 中古住宅販売件数(9月) 米 景気先行指標総合指数 (9月) 欧 ECB月報 欧 ECB金融政策発表 欧 ドラギECB総裁記者会見 欧 ユーロ圏消費者信頼感指数 (10月)	欧 ユーロ圏総合PMI(10月) 欧 ユーロ圏製造業PMI(10月) 欧 ユーロ圏サービス業PMI(10月)

[インターバンク市場]

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	0.075 ~ 0.120
SPOT 2M	0.118 ~ 0.125
SPOT 3M	0.118 ~ 0.135
SPOT 6M	0.130 ~ 0.150

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、発行要因等により前週末比5.5兆円減の235兆円台をつけた。週央にかけて国庫短期証券買入オペ・国債買入オペや年金定時払い等により増加し、15日に244兆円台となった後、241兆円台で越週した。13日より新日銀ネットの全面稼働が開始されたが、同日の無担保コールON物は先週と横ばい圏で推移し、その後も週を通して0.07%台後半の出会いが中心となった。同金利の加重平均は0.076~0.077%の狭いレンジで推移した。ターム物は1W物0.11%台半ばの取引が散見された。15日、入札が実施された国庫短期証券(第565回)の落札利回りは1年物として過去最低を更新し、最高落札利回り△0.0358%、平均落札利回り△0.0418%をつけた。来週の材料としては、国内では日銀支店長会議における黒田総裁挨拶、さくらレポート(19日)、海外ではECB金融政策発表・ドラギ総裁記者会見(22日)等が挙げられる。

[オープン市場]

NCD 3M	0.090 ~ 0.120
CP3M(a-1+)	0.060 ~ 0.080
TDB 3M	△0.015 ~ 0.000
現先(on/1w)	0.060 ~ 0.100

<CP>

今週の入札発行額は約4,800億円で、期落ち額約4,500億円(金融機関・ABCP除く)と同程度であった。引き続き、期明けにも関わらず発行量の伸びは鈍い。a-1格相当銘柄の3M物入札発行レートは、0.070%台後半~0.090%近辺で推移した。現先レートの中心は、0.060%~0.100%程度で推移した。来週の期落ち額は約3,200億円程度となっている。

<TDB>

15日に国庫短期証券3M第564回債の入札が行われたが、最高落札レートは△0.0037%(前回債△0.0056%)、平均落札レートは△0.0055%(前回債△0.0105%)と前回債から利回りは上昇した。セカンダリーは3Mで△0.01%近辺の出会い。6Mは目立った出会いは見られず、1Yは△0.06%近辺の地合いであった。来週22日に3Mの入札が行われる予定である。

<レポート>

足許GCは先週末に引き続き0.075~0.08%の出合から始まった。その後、14日に5年債、15日にTDB3M、16日にTDB1Yと入札が続いたことで業者のファンディングニーズが強くなり、概ね0.08~0.09%近辺の水準で推移し越週した。SCは10年336回債がO/N物・ターム物ともに週を通してネガティブレートで推移した。また5年125回債が入札前日にO/N物でネガティブレートでの出合が見られたほか、20年154回債も来週20日の入札に向け、発行日エンド物でネガティブレートでの出合が見られた。5年債は124・125回債、10年債は327・328・329・333・335・339回債、20年債は151・152・153・154回債、40年債は8回債に引合が多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。